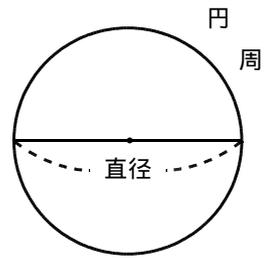


1 円のまわりの長さについて、確かめましょう。

円のまわりのことを ( ) といいます。

円周の長さが、直径の長さの何倍になっているかを表す数を ( ) といいます。



円周率 = ( ) ÷ ( )

( ) ÷ ( ) = 3.14

だから、円周の長さは、次の式で求められます。

円周 = ( ) × 3.14

円周率は、くわしく求めると、3.14159...となるけど、ふつうは3.14を使うんだね。



2 円周の長さや直径の長さを求めましょう。

直径 4 cm の円の円周の長さ

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

半径 3 cm の円の円周の長さ

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

円周の長さが 62.8 cm の円の半径の長さ

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

3 円の直径の長さが変わると、円周の長さは、どのように変わるか調べましょう。

直径が 1 cm 増えると、円周は何 cm 増えるか、表にかいて考えましょう。

直径 (cm)	1	2	3	4	5	6	
円周 (cm)							

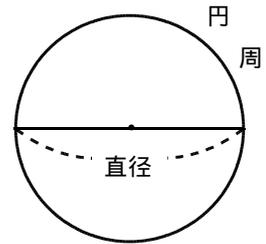
と を使って、円周を求める式をかきましょう。

= \_\_\_\_\_

## ① 円のまわりの長さについて、確かめましょう。

円のまわりのことを( 円周 )といいます。

円周の長さが、直径の長さの何倍になっているかを表す数を  
( 円周率 )といいます。



$$\text{円周率} = (\text{円周}) \div (\text{直径})$$

$$(\text{円周}) \div (\text{直径}) = 3.14$$

円周率は、くわしく求めると、3.14159...となるけど、ふつうは3.14を使うんだね。

だから、円周の長さは、次の式で求められます。

$$\text{円周} = (\text{直径}) \times 3.14$$



## ② 円周の長さや直径の長さを求めましょう。

直径4 cmの円の円周の長さ

$$\text{式 } 4 \times 3.14 = 12.56$$

$$\text{答え } 12.56 \text{ cm}$$

半径3 cmの円の円周の長さ

$$3 \times 2 = 6$$

$$\text{式 } 6 \times 3.14 = 18.84$$

$$\text{答え } 18.84 \text{ cm}$$

円周の長さが62.8 cmの円の半径の長さ

$$\text{式 } 62.8 \div 3.14 \div 2 = 10$$

$$\text{答え } 10 \text{ cm}$$

## ③ 円の直径の長さが変わると、円周の長さは、どのように変わるか調べましょう。

直径が1 cm増えると、円周は何 cm増えるか、表にかいて考えましょう。

直径 (cm)	1	2	3	4	5	6	
円周 (cm)	3.14	6.28	9.42	12.56	15.7	18.84	

と を使って、円周を求める式をかきましょう。

$$= \quad \times \quad 3.14$$